

祈りのきずな 10月

.....

ルカ17章～使徒2章

みょうがだに
茗荷谷教会（東京）牧師 平尾 輝明（ひらお てるあき）

1日(木)ルカによる福音書17章20～21節

神の国とは国家や場所を示すものではありません。また、人が死んだ後に行くところでもありません。神さまの恵みの支配を表します。神さまの恵みは、今既に、私たちの間にあります。十字架と復活のイエスさまとの出会いによって、あふれるほどの神さまの恵みに満たされていることに気づかされるのです。

久保教会と河野信一郎牧師（東京・新宿区）

2日(金)ルカによる福音書18章15～17節

イエスさまは、乳飲み子までも招かれています。彼らは、周りに迷惑をかけ、配慮することもできません。ただ与えられるものによって生かされています。神さまに信頼する意識もなく、無条件の恵みによって満たされているのです。神さまは、豊かな恵みを喜んで私たちに与えようとされています。

花野井教会と古賀公一牧師（千葉・柏市）

3日(土)ルカによる福音書19章45～46節

イザヤ書56章7節にあるように、神殿はすべての人びとにとって祈りの場でなければなりません。礼拝のための便宜とは言え、商売のために利用されるのであれば、礼拝が形だけのものとなり、神さま不在のものになってしまいます。いつも神さまの方に向き直り、祈りから始めることが大切です。

栗ヶ沢教会と木村一充牧師（千葉・松戸市）

4 日(日)ルカによる福音書20章27～36節

復活によって与えられる他者との関係は、今以上の豊かなものとなります。復活のからだは、今のままでもなく、まったく別のものになるのでもありません。同じ人でありながら、朽ちることのない新しいからだを与えられます。復活のからだは、外見ではなく、本質において、その人とわかるのです。

富里教会と武井誠司牧師（千葉・富里市）

5 日(月)ルカによる福音書21章 1 ～ 4 節

献金は、感謝と献身のしるしです。神さまを信じる信仰によって、自発的にささげるものです。アブラハムとヤコブは自発的に十分の一を、貧しいやもめは生活費のすべてをささげました。連盟の国外伝道引当金も先人の信仰によってささげられてきたものです。その目的にふさわしく、大切に用いましょう。

茂原^{もばら}教会と服部^{こうじ}紘司牧師（千葉・茂原市）

6 日(火)ルカによる福音書22章14～22節

主の晩餐にあずかるたびに、私たちはイエスさまご自身をいただいていることを体験します。イエスさまの恵みによって、互いの違いを乗り越えて一つにされています。十字架と復活のイエスさまがいつも共におられ、私たちを罪の奴隷状態から解放し、神の子として喜びの永遠の命に生きるように導かれます。

千葉教会と元川信治牧師、矢野由美教会主事（千葉・市原市）

7 日(水)ルカによる福音書23章39～43節

救いに手遅れはありません。すべての人が主によって招かれ、救いに導かれています。既に救われていることを知らされていても、十字架と復活のイエスさまを信じなければ救いを実感できません。イエスさまの救いを体験するのに、死ぬ直前まで待つ必要はありません。今、喜びの永遠の命を体験しましょう。

千葉・若葉教会と牧瀬博幸牧師、永田泰三協力牧師（千葉・千葉市若葉区）

8日(木)ルカによる福音書24章13～35節

目が遮られていて気づかなかったとしても、復活のイエスさまが既に共に歩んでくださっているのです。聖書の説き明かしによって神さまの言葉を聞き、心が揺さぶられ、燃える体験を与えられます。イエスさまによって目が開かれて初めて、喜びの永遠の命を体験することができるようになるのです。

津田沼教会と大塚恭一牧師（千葉・習志野市）

9日(金)ヨハネによる福音書1章1～5節

イエスさまは神さまによって造られたのではなく、初めからおられ、神さまと交わりをもたれていました。そして、神さまによって私たちのところに遣わされました。イエスさまにある命は、永遠の命、死に勝利している命です。初めからある永遠の命が私たちにも与えられていることが語られています。

船橋教会と松田裕治牧師、三ツ木茂名誉牧師（千葉・船橋市）

10日(土)ヨハネによる福音書2章1～12節

イエスさまが神の子であり、救い主であるしるしが現されます。罪を清めるための水が、イエスさまとともに喜び祝うぶどう酒に変えられました。それは親しい者が求めたからではありません。イエスさまの恵みによってなされたしるしです。イエスさまの言葉に従って水をくんだものが気づかされます。

市川大野教会と富田愛世牧師（千葉・市川市）

11日(日)ヨハネによる福音書3章16節

まことの愛を持っておられる方は、悪い状態をそのままに放っておかれませんか。愛の反対は無関心です。神さまは私たちに関心をもっておられ、独り子の命と引き替えに私たちを救われました。私たちは、愛してくださっている神さまに信頼しきって、イエスさまとともに喜びの永遠の命を生きますのです。

市川八幡教会と吉高叶^{かのう}牧師（千葉・市川市）

12日(月)ヨハネによる福音書 4章1～15節

この世の物質的、または精神的な欲求であっても、それが一時的に満たされたとしても、また新しい欲求が起これ、喜びの状態は続きません。人がこの世に求める潤いは、すべてまた渴きます。満たされることはありません。イエスさまがくださる「**生きた水**」は、喜びの永遠の命に導く聖霊です。

篠崎教会と上原^{かずあき}一晃牧師、鬼澤^{きざわ}寛副牧師（東京・江戸川区）

13日(火)ヨハネによる福音書 5章1～9節

イエスさまはあえて「**良くなりたか**」と問われます。いつまでも問題が続き、状況が長らく変わらないと、自分の願いすらわからなくなります。自分の置かれた過去や現在の傾向を見るなら、未来は絶望しかないかもしれません。あなたは、言い訳せず、「良くなりたか」と率直に答えられるでしょうか。

新小岩教会と松本^{おさむ}理主任牧師、李ヒソク・李ソミョン各宣教師（東京・葛飾区）

14日(水)ヨハネによる福音書 6章52～59節

イエスさまによって、すべての罪が赦され、永遠の命が与えられていることを受け入れるかどうか問われています。この恵みの事実を信じることを、肉を食べ、その血を飲むと表現しているのです。十字架と復活のイエスさまを受け入れるものは、喜びの永遠の命を生き、終わりの日に復活にあずかります。

東久留米教会とジョン・チャヌ音楽牧師（東京・東久留米市）

15日(木)ヨハネによる福音書 7章37～39節

渴いていることに気づかない人は、イエスさまの所に来ません。飲むこと、受け入れることもしません。渴いていることに気づきなさい。神さまの招きに気づきなさい。「困った時の神頼み」という言葉がありますが、私たちは四六時中困っていることに気づき、神さまにより頼む信仰を告白しているのです。

大泉教会と林健一牧師（東京・練馬区）

16日(金)ヨハネによる福音書 8章12節

神さまが与えられた光はイエスさまご自身です。世が闇であるとしても、また照らされたことに気づかなくても、イエスさまによって既に照らされているのです。イエスさまに照らされて、初めて、罪にまみれた姿が明らかとなります。そして、イエスさまに従う者は光の中を歩み、命の光を体験するのです。

東京北教会と魯孝鍊^{ノ ヒョリヤン}・細井留美各牧師、郭修岩^{カクシュウガン}宣教師（東京・北区）

17日(土)ヨハネによる福音書 9章1～12節

弟子たちは、本人または両親が罪を犯したから障がいがあるという因果応報の考え方に縛られていました。原因や理由を問う人間の意識自体が間違っています。イエスさまは根本的な解決をされる方です。人は、神さまの計画によって導かれ、すべてのことに意味があることを体験していくのです。

茗荷谷教会と平尾輝明^{ヘイオウガダニ}牧師（東京・文京区）

18日(日)ヨハネによる福音書10章11～21節

イエスさまは、真の唯一の良い羊飼いとして、私たちのためにあの十字架にかけられ、命を捨てられたのです。自分の羊を持たない雇い人は、羊のために自分の命を捨てることはありません。「捨てる」には「与える」という意味があります。イエスさまご自身が私たちに命を与え、神さまの愛を示されました。

目白ヶ丘教会と野口哲哉牧師、内藤幹子副牧師（東京・新宿区）

19日(月)ヨハネによる福音書11章28～37節

自分の思いを主の思いに優先するのは、上から目線でイエスさまを見ていることになります。イエスさまがおられるのにと、主ではなく、しもべとしてイエスさまを自分に従わせ、自分のために利用してはなりません。イエスさまは、ともにおられるのに人が死の力の支配下にあることに憤^{いきどお}りを覚えられます。

東京ジグチョン教会と許碩眞^{キョクソン}主任牧師、金東源^{キムドンウォン}元老牧師、朴重河^{パクジョンハ}牧師、秋淵淑^{チュウエンソク}・裴謙植^{ペチョンジク}・裴明錫^{ペミョンソク}各協力宣教師（東京・新宿区）

20日(火)ヨハネによる福音書12章20～26節

イエスさまに倣い、従うことによって、十字架と復活のイエスさまとともに永遠の命を生かされているのです。多くの実を結ばれるのは、私たちではなく、イエスさまご自身です。既に喜びの永遠の命を生かされている私たちは、日々出会う一人ひとりに、イエスさまを紹介するように求められているのです。

はすも 連板教会と高木康俊主任牧師、金谷泰誠高齡・病床者担当牧師、山本龍一郎・小鷗琢生各教会担当牧師、片岡順子・鈴木ケン・金英泰各協力牧師（東京・板橋区）

21日(水)ヨハネによる福音書13章 1～20節

イエスさまが弟子たちの足を洗われたことは、イエスさまの十字架の死と復活による救いを示しています。また、イエスさまからこの上なく愛し抜かれた者、その救いを体験した者の行動規範を示しています。相手に仕えて生きることをイエスさま自ら実践されながら、互いに足を洗い合う生き方を求めておられます。

東京愛の伝道所と朴天海牧師（東京・新宿区）

22日(木)ヨハネによる福音書14章 6 節

どの道をどのように歩むかではありません。イエスさまのもとに留まるのです。イエスさまが歩んだ道を歩むではありません。イエスさまご自身が道です。十字架と復活のイエスさまによって既に救われていることに気づかされます。神さまの愛という真理によって、喜びの永遠の命に生かされるのです。

志村教会と常廣澄子牧師（東京・板橋区）

23日(金)ヨハネによる福音書15章 1～10節

イエスさまは既に私たちがぶどうの木の枝であると宣言されています。一つひとつの枝は、イエスさまにつながっていることによって生かされています。イエスさまの言葉によって清くされ、豊かに実を結ぶことができるようにされています。イエスさまの愛にとどまるなら、心配なく全力を尽くせるのです。

東京韓日教会と李島鎮主任牧師（東京・板橋区）

24日(土)ヨハネによる福音書16章16～24節

目に見える現実は変わらなくても、イエスさまから遣わされている聖霊の働きによって、十字架と復活のイエスさまによる救いを体験します。恵みを与えられる神さまの愛に信頼して、イエスさまの名によって父なる神さまに祈り願うことができるようになります。悲しみの中にも希望と喜びが示されています。

赤塚教会と石堂雅彦牧師（東京・板橋区）

25日(日)ヨハネによる福音書17章2～3節

永遠の命とは、聖霊の働きによって、父なる神さまとイエスさまを知ることです。既に永遠の命は与えられており、救いを体験することによって、喜びとなってゆきます。私たちは、まだその喜びに気づいてない方がた、体験していない方がたのために祈り、主に聞き従って、宣べ伝えることを求められています。

常盤台教会と友納靖史主任牧師、森崇^{たかし}牧師、渡部信^{わたべ}協力牧師（東京・板橋区）

26日(月)ヨハネによる福音書18章1～11節

「わたしである」は「わたしはある」（出3・14）、存在することです。また「わたしはある」という言葉は、父なる神さまがご自分の名として現された言葉でもあります。更には「**私はいる**」（聖書協会共同訳）と共におられることを示しています。神さまが存在され、今ここにおられることを私たちが体験しているのです。

朝霞教会と中田義直協力牧師（埼玉・朝霞市）

27日(火)ヨハネによる福音書19章1～24節

祭司長たちは自分の信念によってイエスさまを殺そうとしました。ピラトは自分の地位を守るために思いを曲げて死刑の判決を下しました。兵士たちは欲望によってイエスさまの服を分け合いました。その中に私たちもいます。イエスさまは、そのすべての人の罪の赦しと喜びの永遠の命を与えられたのです。

インドネシア伝道と野口日宇満宣教師のために

28日(水)ヨハネによる福音書20章11～18節

マグダラのマリアは絶望の涙を流していました。「なぜ泣いているのか」復活の希望が与えられているのに、まだ泣いているのかと問われているのです。イエスさまからあなたの名も呼ばれています。遺体があるはずの墓から方向転換、すなわち悔い改め、振り向けば、復活のイエスさまがおられるのです。

国際ミッション・ボランティアのために（佐々木和之氏・ルワンダ）

29日(木)ヨハネによる福音書21章15～20節

三度イエスさまを知らないと言ったペトロに、三度「わたしを愛しているか」と問われました。彼がイエスさまに背を向けた罪に対して、三度「あなたがご存じです」という告白で上書きされるためです。神さまの愛によって完全に赦されている体験をもって、新たな一歩を踏み出す力が与えられています。

シンガポール国際日本語教会（IJCS）のために

30日(金)使徒言行録 1 章 3 ～ 5 節

遣わされた者としての働きは、自分の力や努力や工夫によってなされていくものではありません。私たちが働いているのではなく、イエスさまが与えると約束されている聖霊が働いておられるのです。聖霊は私たちの心の目を開いて、聖書を悟らせ、十字架と復活のイエスさまによる救いの業を実現していきます。

アジアバプテスト女性連合（ABWU）のために

31日(土)使徒言行録 2 章 1 ～ 7 節

目には見えない聖霊をとおして、神さまご自身が一人ひとりに出会い、働きかけられます。私たちは、神さまとの出会いを与えられ、炎によって精錬されるような体験をしつつ、新しく生かされます。聖霊が私たちに語る力を与え、イエスさまの福音が全世界に宣べ伝えられ、広められていくのです。

プレス・カンボジア・ネットワーク(カンボジア)のために